



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



昨日のオープンスクール、ご参観ありがとうございました！

－ Change（変革）, Challenge（挑戦）, Continue（継続）－

昨日も大変暑い一日となりました。残暑もまだ続いています。地域によっては、9月の最高気温の更新も伝えられていました。熱中症にはまだまだ注意が必要な状況です。

さて、昨日はオープンスクールを実施しました。コロナ禍の状況を鑑み、人数制限を設けての実施とさせていただきます。保護者の皆様には、大変、窮屈でご不便な思いをさせていただきましたことお許しください。子供達の学習の様子は如何だったでしょうか。2学期が始まり、ノンストップの3週目です。今回は、道徳の学習でした。「**道徳は、自立した一人の人間として人生を他者とともにより良く生きる人格を形成することを目指すもの**」である、「**一人の人間としての生き方を子供達一人一人がしっかりと考える**」ということが大切なこととなります。私たちは様々な関わりの中で生きており、その関わりにおいて道徳性を身に付け、豊かな心を育んでいきます。道徳で考えている関わりとは、①自分自身に関すること②人との関わり③集団や社会との関わり④生命や自然、崇高なものとの関わり④の4つです。これらの関わりの中に、①であれば、善悪の判断、誠実、自律等、②であれば、親切、思いやり、友情等、③であれば、規則の尊重、公正・公平、国際理解等、④であれば、生命の尊さ、畏敬の念、よりよく生きる喜び等があります。昨日の道徳は、どのような内容について、子供達は考えていたのでしょうか。また、一度、保護者の皆様もご自身でお考えいただき、お子様と話題にいただければ大変嬉しく思います。また、授業参観に引き続き、実施しました「PTA 子育てセミナー」にもお忙しい中、多数ご参加をいただき誠にありがとうございました。LGBT という「多様な

性」についての講演会でした。今、社会の中での大きな課題でもあります。ご講演を聞かれて如何だったでしょうか。アンケートの方に、ご感想をお寄せいただければ大変嬉しく思います。講演会后、4・5・6年生の感想を読みました。子供達にとって大変大きな学びがあったことが分かりました。よく考えているなあと感心しました。感想を読みながら、子供達の素直さ、柔軟さ、知ることの必要性和重要性を強く思いました。講師の清水さんの話をお聞きし、耳慣れない言葉もあったと思いますが、清水さんの今までのご経験に耳を傾け、その大変さ、その苦しさ、そして、その喜びを率直に受け止める素直さがありました。今まで考えたり、思ったこともなかったりしたこと、今日初めて耳にしたこと考えたことが沢山ある中で、そのことを受け入れる柔軟性がありました。そして、初めて知ったことへの素直な感動、喜びが綴られていました。清水さんと講演会后、少しお話をさせていただきましたが、講演会の中で子供達に尋ねたとき、一生懸命考えてくれる子供達の姿がとても嬉しかったと仰っておられました。このような話は、難しいのかな？分かるのかな？どうなんだろう？という思いも少しありました。しかし、**その予想を遥かに超えて、子供達は多くを学んでいました。頼もしい子供達を大変嬉しく、誇りに思います。**

また、ここ2年間、コロナ禍のこともあり、実施できなかった「PTA 子育てセミナー」でした。今回、保護者の皆様にとりましても有意義な講演会となったのではないかと考えております。中でも、PTA 研修部の方には司会・運営等について、ご尽力を賜りましたこと、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後もコロナ禍における様々な対応について、保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携を深め児童にとって、「**明日も行きたい！学びたい！学校**」を目指し、様々な教育活動を進め、共に歩んでいきたいと願っております。